



# さくら並木

～町の特性を活かし、未来を描く～

大河原町長 齋 清志



「地域特性の見える化ツール」EvaCva（エヴァシーヴァ）というものをご存知でしょうか。自分たちが暮らす町にどんな魅力や特性があるのかを、比較し発見することができる統計データが示す指標で、民間の研究機関が公表しているものです。自然・環境・健康と医療・社会基盤・活性化度・財政・雇用などの分類されたデータの比較から、人口が同規模の自治体内でのランキング表示がなされています。

気になる本町の順位ですが、全体でも分類でもほとんどが中位程度でした。そのなかで特筆すべきことが2つあって、健康と医療が非常に高く、残念ながら雇用がかなり低いという事実でした。救急やがん治療等の医療機能を高めてきた中核病院が本町に所在することや、高齢者の皆さまの健康意識が高いことなどが貢献していると思われま

す。後期高齢者の健康診査受診率や生活習慣病の保有者率等は、県下でも1位・2位であり、その健康意識の高さを裏付けています。災害に強く安心して安心な環境づくりと合わせ、命を大切にす文化の醸成につながることを切に期待しています。本町の弱点とも言える雇用については、人口減少対策Ⅱ雇用拡大につながる産業振興施策と地元企業への支援がポイントになると考えています。合わせて、若者の定住・移住につながる子育て支援や教育の充実が大切であると認識するところです。

町では現在、町政運営の最上位計画と位置付けられる「長期総合計画」を策定しています。各分野で活躍する町民の代表や公募で参画されている方々からなるまちづくり審議会と、役員職員のプロジェクトチームでつくる専門部会が並行して開催されているところです。そのなかで中心的なテーマは、『生命（健康）と安全を守る』と『町の人口減少対策』とさせていただきます。どちらも私が町政スローガンとして掲げております『認めあい、支えあい、活かしあう、一歩先行く元気なまちに』につながる視点と受け止めています。これからの新しい地域づく

りのなかには、民間の持つエネルギーやマネジメント力を取り入れながら情報の発信力にも磨きをかけて、町全体の活力を高めていくことが重要と考えています。また、多様な社会環境の変化が待ち受ける時代にあつて、目前の課題解決に追われるだけでは町政の発展は望めないと感じています。地方創生の理念に基づいたためにも、町の垣根を下げ広域連携を図りながら、本町の特性である中心性・拠点性・利便性をとことん活かす未来を描き続けることが大切であり、このことよつて5年先10年先、いやもつと先の展望をも切り開くことができると信じています。

今年度は、大きな交付金事業（一目千本桜ブランド化事業・中央公民館複合化事業）なども交付決定され、先の6月議会では満場一致の議決をいただきました。年度内での事業展開を図るなかで、町民の皆さまにも身近な施設のリニューアルなどを通して、町政の進展を実感していただける機会になることを願っています。（6月20日記）

駅前図書館今月の新刊  
まちの本棚

## 一般

■なぜ、残業はなくならないのか  
常見 陽平／著 「祥伝社」

「残業には、わが国の労働社会の問題が凝縮されている。この問題にいかに向かうべきかを深く掘り下げて議論し、政府が進める「働き方改革」についても、その矛盾を鋭く指摘する。」

## 小説

■獲の耳たぶ  
芹沢 央／著 「幻冬舎」

自ら産んだ子を自らの手で「取り替えた嗣子」。発覚に怯えながらも息子航太への愛情が深まる。一方、郁絵は「取り違えられた子」と知らず、息子・璃空を育ててきた。それぞれの子が4歳を過ぎた頃、「取り違え」が発覚し…。

## 児童

■フラダン  
古内 一絵／作 「小峰書店」

女子率100%のフラダンス愛好会「アーヌエエエ・オハナ」に集められた4人の男子高校生。その目的は男女混合によるフラガールズ甲子園出場だった！震災から5年後の福島を舞台に描く、とびきりの笑顔と涙の青春ストーリー。

## 絵本

■いたずらおかみくん  
きむら ゆういち／作 「世界文化社」

国松 エリカ／絵 「世界文化社」  
おかみくんは、いたずらが大好き。ともだちをこまらせようと、あれこれしかけますが…。ひねくれもののおかみくんの「きもち」が、ともだちとのふれあいのなかで変化していく様子を、描く、クスッと笑えるユーモア絵本。

# 学び舎通信

町内小中学校の情報を  
毎月お届けします

## 1年生と手をつないで たてわり遠足

6月9日にたてわり遠足を行いました。1年生から6年生まで、「あずき」「にんじん」などの作物の名前がついた8グループに分かれ、中島公園と甲子公園を巡りました。晴天のもと、上学年と下学年がペアにな



って、手をつなぎ、励まし合いながら楽しく歩きました。公園では、弁当を食べたり遊具で遊んだりして、異学年交流を深めることもできました。碑文を見たり、すれ違う地域の皆さまからの温かい声掛けをいただいたりして、地域に対する愛着を一層深めた意義深い行事となりました。

## 大河原南小学校

## 大河原中学校

### 先輩から学ぶ（志集会）

～NHKキャスター登場～

大河原中学校では、地域のかたに協力をいただきながら志教育を進めています。5月26日には、大河原中学校の卒業生で、NHK福島キャスターの岩間瞳さんをお迎えして「志集へく先輩から学ぶ」を行いました。

楽しさや大変さなどをお話しいただきました。また、放送委員会の生徒とともに発声の仕方や早口言葉に挑戦するコーナーも設けていただきました。中学校時代は自分の夢について人に話すことはなかったけれども、「思いは口にしないと伝わらない。夢は口にしないと叶わない」という言葉に出会い、自分は大きく変わったとおっしゃっていました。生徒たちもこの言葉に大きく心を動かされたようでした。



# 暗唱大好き

シリーズ⑮ 金中編



毎週月曜日、朝の会終了後の教室では暗唱の活動が行われています。それぞれの教室では、ある生徒は一人集中して、またある生徒は何人かで交互に暗唱を聞きあつてと思ひ思ひの方法で暗唱に取り組んでいます。

これまでの暗唱の取り組みはひとりひとりが持つ「暗唱カード」に記録されています。暗唱カードには「おおがわらの暗唱読本『寿限無』を使って知的財産を増やし、表現力をつけよう！」と書かれています。3年生ともなる



と、暗唱カードに合格シールがずらりと並ぶようになり、これまでの暗唱の成果が一目で確認できるようになっています。生徒は週に1回10分の取り組みではありますが、着実に財産を増やしていると言えるでしょう。

学習に対して意欲的に取り組んでおり何事にも一生懸命な金中生ですが、暗唱を通して「しっかりと声を出して表現すること」を意識して、中学校生活はもろろん社会に出てから生かせる力を伸ばそうとしています。